

上尾市立尾山台小学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

- 明るい子（元気にあいさつする子、笑顔あふれる子）
- 考える子（自ら学ぶ子 仲間と共に学ぶ子）
- たくましい子（すすんで体を動かす子 最後までやりぬく子）

学校課題研究主題

自ら学び、考え、
共に高め合う児童の育成

学力・学習状況調査の結果

R6 全国学力・学習状況調査	R6 埼玉県学力・学習状況調査	R5 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> ・国語、算数ともに平均正答率は、国・県平均のどちらも上回っている。 ・国語「読むこと」で人物像を捉える問題の正答率が低い。 ・算数「図形」で円柱の展開図に関する問題の正答率が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力レベルの平均は、5学年は国語、算数ともに、最上位層と下位層が伸びている。6学年は、2教科とも最上位層が伸びている。 ・学力を伸ばした児童の割合は、5・6学年ともに算数の伸びが低い傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・算数共に、目標値に対して、3学年が同程度もしくは上回るという結果であった。算数の基礎は3つの学年が下回り、活用は2つの学年が目標値を下回っていた。まずは基礎の定着を図り、活用に生かす力を向上させる必要がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用する力 	<ul style="list-style-type: none"> ③見通しをもって課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
<ul style="list-style-type: none"> ●ICT端末の活用 ・学習支援ソフトの活用 ・デジタルドリル（AI型ドリル等）による反復学習（計算・漢字） ●学習形態の工夫 ・少人数指導（算数科） ●一部教科担任制 	<ul style="list-style-type: none"> ●問題解決学習の充実 ・課題別学習（理科、社会、生活・総合的な学習の時間） ●学習形態の工夫 ・単元内自由進度学習 ・バズ学習 ・知識構成型ジグソー法 	<ul style="list-style-type: none"> ・「問い」を生む授業展開 ・体験的活動の充実 ・意欲を高める課題と定着を図る学習の充実

本校の特色ある取組

- ・スクールワイドPBSによる、褒める教育の推進
- ・少人数指導、一部教科担任制、単元内自由進度学習
- ・探究的活動の推進（経験単元による学級総合）
- ・GETグループ（縦割り班）によるGETタイム、GETフェスティバル
- ・青空タイム（外遊び）、ロングのびのびタイム（自由遊び）の奨励
- ・「学びタイム」「よむよむタイム」の実施
- ・GETスピーチコンテストの実施

家庭教育との連携

- ・学校メール配信システム、各種便り、ホームページによる情報発信
- ・学校公開
- ・教育相談日の積極的な活用
- ・おや小応援団との連携

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（低学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用する力	③見通しをもって課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑤	①短文の作文や基礎的な語彙、文法のプリントに取り組む時間を設ける。 ⑤読書に親しみ、色々な本を読む機会を設ける。	
算数	①、④	①どの段の乗法九九についても十分に習熟し、生活や学習の中で繰り返し活用させる。 ④言葉や絵や図などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
生活	⑤、③	⑤子供の気付きの質を高める授業展開の工夫を行う。 ③子供たちの思いや願いを実現できる環境づくりを行う。	
音楽	⑤、①	⑤声や身の回りの音の面白さに気付かせる音遊びを行う。 ①音色に合わせた一定のリズムや旋律の演奏を意識させる。	
図画工作	⑤、②	⑤多様な表現方法が取れるような材料設定を行う。 ②身近な自然物や様々な人工物に触れさせる機会の設定を行う。	
体育	①、③	①授業における30分以上の運動量を確保する。 ③場づくりの工夫を行う（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる）。	
英語活動	⑤、①	⑤英語活動担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動を行う。 ①英語絵本の読み聞かせ、歌やダンスタイムを行う。	
特別の教科 道徳	⑤、⑥	⑤保護者・外部講師との連携を計画、実施する。 ⑥道徳ノートを活用していく。	

A…取組の効果が十分に見られた B…今後も課題として取り組む C…取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（中学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用する力	③見通しをもって課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	①、⑤	①国語辞典、漢字辞典を使って意味を調べる機会を設定する。 ⑤読書に親しむ機会を設定する。	
社会	①、④	①発表活動の工夫（授業のまとめをノート・新聞・ICT 端末にまとめて発表）を行う。 ④グループで自分の考えを発表しながら話し合う場を設定する	
算数	④、①	④言葉や式・図・表・グラフなどを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。 ①少人数指導による個別支援を行う。	
理科	③、④	③実験や観察をし、比較しながら調べ、見出した問題について興味・関心をもって解決させる。 ④言葉や絵などを用いて、自分の考えを表現し、説明したり伝え合ったりさせる。	
音楽	②、①	②即興的に表現する活動を計画的に行う。 ①副次的な旋律に触れさせる機会の設定を行う。	
図画工作	⑤、④	⑤多様な表現方法が取れるような材料設定を行う。 ④話し合いながらつくる活動を行う。	
体育	①、③	①授業における30分以上の運動量を確保する。 ③場づくりの工夫を行う。（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる。）	
外国語活動	⑤、①	⑤外国語活動担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動を行う。 ①歌やチャンツ、ゲームを通して身近な英語表現に慣れ親しませる。	
特別の教科 道徳	⑤、⑥	⑤保護者・外部講師との連携を計画、実施する。 ⑥道徳ノートを活用する。	
総合的な学習の時間	④、⑤	④体験を通して、得たものを共有しながら考え、話し合う。 ⑤友達と協力したり応援団の方などと交流したりする。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

2 学力向上を図る取組

(1) 各教科の授業における取組（高学年）

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
①各単元で押さえるべき語句や知識の習得 ②既習事項を学習や生活で活用する力	③見通しをもって課題解決する力 ④対話的な学習を通して、考えを深める力	⑤能動的に学ぶ力 ⑥既習事項を学習や生活で活用する力



教科・領域	重点的に身に付けさせる学力	具体的な取組	成果
国語	⑤、①	⑤読書に親しむ取組として、ビブリオバトル等を設定する。 ①文法などの語句の問題を学びタイムや家庭学習で取り組ませる。	
社会	①、④	①板書計画やワークシートを工夫し、視覚的にも歴史事象や政治の関係・構造を分かりやすく捉えられるようにする。 ④課題に対するまとめや授業の振り返り、単元まとめの新聞作成など、自分の言葉で内容をまとめ、学習内容を習得させる。	
算数	①、③	①単元のまとめに、自分の学力に応じた問題に取り組ませる。 ③図形の学習では、作図などの活動を通して図形の観察や構成に着目できるようにさせる。	
理科	②、⑤	②理科学習における既習の重要語句（器材や現象）の解説や写真を掲示し、いつでも確認できるようにさせる。 ⑤1つの実験を少人数で実施し、全員に実験・観察の機会を与える。	
音楽	①、⑤	①呼吸法、発音法を意識した歌唱の指導を行う。 ⑤児童理解を深めた上での、個に応じた指導の工夫を行う。	
図画工作	⑤、③	⑤多様な表現方法が取れるような材料設定を行う。 ③実態に即した児童主体の授業展開を行う。	
家庭	①	①ICT機器を活用し、縫い方等の手本を示す。 ①学習支援ボランティアを活用していく。	
体育	①、③	①授業における30分以上の運動量を確保する。 ③場づくりの工夫を行う。（多彩に動くことができる、確かめができる、運動の特性が味わえる。）	
外国語	⑤、②	⑤外国語科担当教諭を中心とした親しみやすいコミュニケーション活動を行う。 ②毎時間の一問一答を通して、既習の英語表現に慣れ親しませる。	
特別の教科 道徳	⑤、⑥	⑤グループで話し合う場を設定し、多角的・多面的に捉えられるようにする。 ⑥ぼかぼかノート（道徳ノート）を活用する。	
総合的な学習の時間	④、⑤	④体験を通して、得たものを共有しながら考え、話し合う。 ⑤友達と協力したり応援団の方などと交流したりする。	

A・・・取組の効果が十分に見られた B・・・今後も課題として取り組む C・・・取組を見直す

(2) 教育活動全体を通じた取組

本校の特色ある取組	
○基礎基本の充実	・ 少人数指導、教科担任制、デジタルドリル（AI型ドリル等）の活用
○探究的活動・協働的な学びの充実	・ 生活科、総合的な学習の時間（OKタイム）における経験単元による学習
○個別最適な学びの充実	・ 単元内自由進度学習、少人数指導、ICT端末による学習
○生徒指導、教育相談、特別支援的視点からの取組	・ スクールワイドPBSによる、褒める教育の推進 ・ ほっとルーム（教育相談室）、保健室の活用（すべての子供の居場所づくり） ・ いじめへの迅速・組織的・誠実な対応～いじめの見逃しゼロ～
○心身の健全育成	・ 道徳ノートを活用した心豊かな児童の育成 ・ 生命の安全教育（性教育） ・ 各種保健・体育的内容の出前授業・講座の実施
○グローバル化に対応する教育	・ ALTとの効果的な連携、English café（英語で遊ぼう）、スピーチコンテストの実施
○校内環境の整備	・ 学習意欲を高めるための教育環境整備（多目的室等の活用） ・ 安心・安全な学校づくりのための環境美化
○開かれた学校づくり	・ おや小応援団による協力体制の充実 （学校図書館整備・読み聞かせ・防犯見守り・校内環境美化・学習支援）
家庭教育との連携	
○家庭学習の充実	・ 尾山台小学校ステップアッププランの活用 （家庭学習や読書の時間のめやす） 1年：20分 2年：30分 3年：30分 4年：40分 5年：50分 6年：60分 ・ ICT端末の活用 （デジタルドリル（AI型ドリル等）、まなびポケット、Google Workspace for Education Fundamentals） ・ コバトンのびのびシートの活用
○家庭との連携	・ 学校メール配信システム「さくら連絡網」の活用 ・ 各種便り、学校ホームページによる情報提供 ・ PTAオープンミーティングによる話合いの場の設定